

小安峡温泉  
お宿 **山の荘**  
Yama no shou

秋田  
小安峡

秋田県湯沢市皆瀬字湯元185-1 TEL.0183-47-5550  
URL http://www.yamanoshou.jp

# 河北新報

## 宮城・南三陸町観光協会の20代職員

# 語り部として被災地案内

東日本大震災からもうすぐ9年。これに先立ち3月7、8の両日、宮城県南三陸町で「20代語り部ガイドによる被災地バス案内」がある。主催の南三陸町観光協会に勤める20代の職員らが語り部となり、志津川地区の被災地をバスで巡る。今回で3回目の開催だが、職員らが被災時に中高生の視点で捉えた震災の様子や心情が、参加者の胸に響くことだ。



語り部を務める職員で、は最年少の阿部さん



今回から新たにコースに加わる震災復興祈念公園の献花台

南三陸町観光協会は震災発生後、間もない頃から、語り部の案内による被災地巡りのバスを運行してきたが、同じ人がずっと担当し高齡化も進んだ。語り部を募集してもなかなか集まらない中で、白羽の矢が立ったのが町出身の若手職員だった。

協会の地域プロモーション戦略室ツアー管理者の内木渡さん(44)は「語り部活動の継続と伝承を考え、若手にきちんと勉強しても

らおうと思った」と振り返る。20代語り部ガイドによる被災地バス案内は午前、午後各1便。初回だった昨年3月は2日間計4便で95人が参加。佐藤慶治さん(26)と阿部悠斗さん(23)がガイドを務めた。町内出身の2人は震災時、高校2年生と中学2年生。被災地の震災直後の状況や自らの

が加わり3人体制となった。これまで2回の開催で、北海道から沖縄まで全国各地から参加があった。参加者からの評価は高い。内木さんは「親子連れで参加した人が多く、震災を知らない子どもさんに近い目線で説明してもらったと喜ばれた」と話す。基本

陸ポータルセンターを発着点に戸倉公民館や復興した町役場、病院などを巡る。今回から新たに、昨年12月に一部オープンした震災復興祈念公園の献花台にも立ち寄る。

参加費は大人、子ども同額1500円。申し込みは参加希望日の1週間前まで協会のウェブサイトで電話で受け付ける。当日は出発時間の30分前までにポータルセンターに集合。

連絡先は南三陸町観光協会0226(47)2550。

## 来月7、8日バスで巡る



参加者が熱心に語り部の話に耳を傾けた昨年5月のツアー

被災体験、復興途上にある町の現状などを説明した。2回目は5月のゴールデンウィークで3日間計6便116人が参加。佐藤さんは「海沿いの4階建ての建物の屋上に避難したが、津波が足まで来て、もう死ぬんだと思った」と過酷な体験を振り返る。それでも3人は実際に活動し参加者と直接触れ合うことで、話す、伝えることの重要性に気付

いた。今回の参加者募集はすでに始まっている。これまでに宮城、岩手両県のほか北海道、栃木、千葉、東京、静岡、愛知、長崎からの申し込みがあった。2日間とも午前10時半と午後1時半に出発。約1時間半の運行で協会の事務所がある南三